



たくさんの初めての経験を重ねて 八幡支援学校の「1学期」が終了しました。

4月13日の「開校入学式」に、本校の86人の子どもたちが、京都八幡高等学校の生徒諸君と並んだり、手をつないだりして式場に入場してから、早くも3か月。今日で1学期が終了しました。

八幡支援学校の設立、建設にあたり、御協力をいただいた多くの方々に、改めて感謝の御礼を申し上げます。ありがとうございました。

また、保護者の皆様の力強い御理解と温かい御協力があって、今日を迎えられたと思います。

本当にありがとうございました。



待望のプール学習。クラス対抗リレーで勝利！



子どもたちも、新しい校舎で元気いっぱい学習しました。当初は、広くてたくさんの教室を上手く活用できるかな、と心配の声もいただきましたが、学習内容に応じて教室が設定され、子どもたちは、次の学習への期待をもって、教室を移動することでも学習して、目標を明確にした学習が展開されてきました。



高等部の校内職場実習で「箱折り」に挑戦

京都八幡高校との日常的な交流として「昼休み交流」も始まりました。はじめはお互い不安一杯でしたが、昼食やその後の遊びで打ちとけて楽しい交流でしたとの感想も。2学期は、北キャンパスとも授業交流を実施。

たくさんの「初めて」の取組で子どもたちはしっかりと学習を積み重ねてきました。この成果を2学期に活かしていきたいと思います。少し長い「夏休み」に入ります。この機会にできることを見つけて、元気に2学期始業式（8月25日）に出会えることを願っています。休みの期間、緊急な事などがありましたら、学校にご連絡をください。

（校長 山田 和孝）



「食育」で給食の材料のトウモロコシの皮むき

